

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 19 日

評価対象事業	健福 - 28	介護保険事業（特別会計）	☐ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 高齢者支援課、介護保険課		評価者 高齢者支援課長 寺山 明
介護保険事業特別	会計	款 12 項 5 目 5	
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名 健康長寿社会の構築

1 事業の目的

対象	鎌倉市介護保険被保険者	意図	高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるようにするため。
効果	市民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	配食サービス、認知症高齢者等早期発見支援事業、成年後見制度助成事業	配食サービス、認知症高齢者等早期発見支援事業、成年後見制度助成事業	配食サービス、認知症高齢者等早期発見支援事業、成年後見制度助成事業
予算額（千円）	15,640	15,301	
国県支出金	9,567	6,089	
地方債			
その他	3,062	7,749	
一般財源	3,011	1,463	0
当初人員配置数	12.0	12.0	0.0
人件費（千円）	95,288	83,892	0
事業実績	配食サービス、認知症高齢者等早期発見支援事業、成年後見制度助成事業		
決算額（千円）	11,775		
国県支出金	7,339		
地方債			
その他	2,169		
一般財源	2,267	0	0
人員配置実績数	13.0	0.0	0.0
人件費（千円）	93,875	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	包括的支援事業・任意事業	千円	11,808	⇒	11,775		
活1	実績につながる活動	配食サービス事業委託等				11,775		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・配食サービス、認知症施策の実施により、高齢者が住み慣れた地域で安心した暮らしが継続できるよう取り組んだ。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	要支援・要介護認定を初めて受ける平均年齢	歳	82.3	↗	82.3			1
成2	配食サービス 利用食数	食	32,627	↗	30,814			1
成3	貸出GPS端末 利用者数	人	26	↗	22			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	個々人の食習慣や生活習慣、病歴等の影響は避けられないと考えるが、令和7年度における特筆すべき外部要因はなし。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・介護保険事業の運営については堅調な運営が行えた。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・希望者に対し、必要なサービスが届けられている。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☐ 市	☐ 国・県	☒ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☐ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	配食サービス等の民間でも実施されている事業については、民間事業者との連携方法など検討しながら実施していく。権利擁護のために必要な援助を引き続き実施していくとともに、認知症高齢者等見守りシール利用事業やGPS貸出事業など、認知症施策を展開していく。			上位施策への寄与度
					A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	GPS貸与に係る事業実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	×	○	○	×	○	×	×	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	認知症施策の充実が図られている。
----------------------	------------------